

第1章－1 「人口や世帯について調べたい」

人口について調べる場合

- ・人口や人口増減の推移などがわかる。
- ・男女、年齢、就業状態などに分類された人口について、全国、都道府県、市町村ごとの動きがわかる。

統計調査名	国勢調査	新潟県推計人口	人口推計	住民基本台帳人口
概要	各種行政施策の基本資料を得ることを目的として、全数調査で実施している基幹統計	国勢調査の実施間における人口を把握するために、国勢調査による人口を基礎として、その後の人口動向を各種統計資料から推計したもの		氏名、年齢などが記載された住民票の届出を編集した住民基本台帳に記録されている人口のこと
実際の人口との乖離	ほぼ無	少ない	少ない	若い世代が多い
対象	実際にそこに住んでいる人	国勢調査を基にした推計		その市町村に住民登録されている人
国値の有無	○	×	○	○
都道府県値の有無	○	○	△ ※	○
市町村値の有無	○	○	×	○
外国人のみの人口	○	○	○	○
調査周期	5年ごと	月次	月次	年次
調査機関	総務省	新潟県統計課	総務省	総務省

※年報では都道府県値有り

豆知識

①「新潟県推計人口」と「人口推計」の違い

○大きな違いは推計に用いている資料

ともに国勢調査を基準としているが、推計に用いている資料に差異がある。

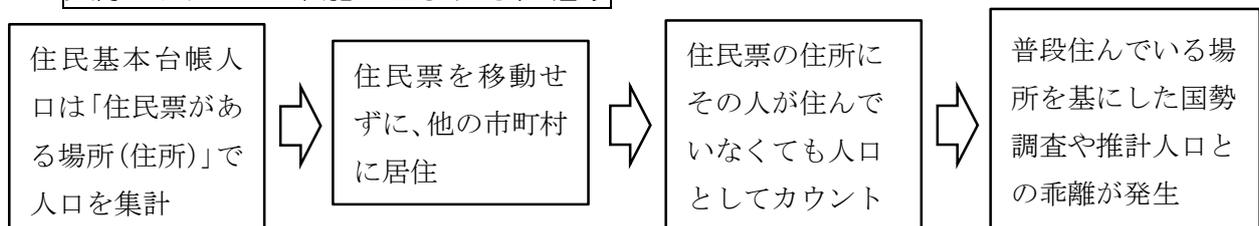
「新潟県推計人口」…市町村へ届出のあった出生・死亡と転入・転出を加減算して推計。

「人口推計」…出生・死亡（人口動態統計）、入国・出国（出入国管理統計）、転入・転出（住民基本台帳人口移動報告）等を加減算して推計。

②住民基本台帳人口において、実際の人口との乖離が「若い世代」に多い理由

○親元に住民票を置いたまま、学校の近辺で一人暮らしをする学生が多いため

実際の人口との乖離が生まれる仕組み



日本にいる外国人の人口を調べる場合

- ・ 3か月以上日本に滞在している外国人の人口などがわかる。
- ・ 国籍別、在留資格別、自然動態、社会動態などが、全国、都道府県、市町村ごとにわかる。

統計調査名	在留外国人統計	国勢調査	新潟県推計人口	人口推計	住民基本台帳人口
主にわかること	在留資格 国籍	国籍	出生数 死亡数 転入数 転出数	出生数 死亡数 入国数 出国数	出生数 死亡数 国内外からの転入数 国内外への転出数
	日本に来た目的	調査時点での実態に近い外国人人口	県内（国内）における外国人の人口動態		日本国内における外国人の人口動態
概要	在留外国人及び入管法の在留資格をもって日本国内に在留する外国人を集計した統計	各種行政施策の基本資料を得ることを目的として、全数調査で実施している基幹統計	国勢調査の実施間における人口を把握するために、国勢調査による人口を基礎として、その後の人口動向を各種統計資料から推計したもの		氏名、年齢などが記載された住民票の届出を編集した住民基本台帳に記録されている人口のこと
国値の有無	○	○	×	○	○
都道府県値の有無	○	○	○	△ ※	○
市町村値の有無	○	○	○	×	○
調査周期	半年	5年ごと	月次	月次	年次
調査機関	法務省	総務省	新潟県統計課	総務省	総務省

※年報では都道府県値有り

世帯について調べる場合

- ・ 世帯数や世帯構成などがわかる。
- ・ 単独世帯、核家族世帯、高齢者世帯、母子・父子世帯、3世代世帯など家族類型や世帯構造別の世帯数が、全国、都道府県、市町村ごとにわかる。

統計調査名	国民生活基礎調査	国勢調査	新潟県推計人口	住民基本台帳人口
主にわかること	単独世帯数 核家族世帯数 その他の世帯数 など	単独世帯数 核家族世帯数 非親族を含む世帯数 など	世帯数	日本人住民世帯数 外国人住民世帯数
概要	保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を集計した調査	各種行政施策の基本資料を得ることを目的として、全数調査で実施している基幹統計	国勢調査による人口を基礎として、その後の人口動向を各種統計資料から推計したもの	氏名、年齢などが記載された住民票の届出を編集した住民基本台帳に記録されている人口のこと
国値の有無	○	○	×	○
都道府県値の有無	△ (地域ブロック)	○	○	○
市町村値の有無	×	○	○	○
調査周期	年次	5年ごと	月次	年次
調査機関	厚生労働省	総務省	新潟県統計課	総務省

将来の人口が知りたい場合

- ・将来の出生、死亡、ならびに国際人口移動について仮定を設け、これらに基づいて将来の人口規模等を推計したもの。
- ・人口や出生率、生残率などが推計されている。
- ・「将来推計人口」は、現状の社会情勢が今後も継続した場合の人口を推計（将来への投影）するものであり、社会情勢の変化を考慮した将来人口（将来の人口予測）ではないということに留意が必要である。

統計調査名	将来推計人口	
概要	国勢調査、生命表、人口動態調査などの各種人口統計の結果を基に、将来の人口を推計している	
推計範囲	全国	都道府県 市区町村
推計期間	最新の国勢調査から50年後 (参考推計100年後)	最新の国勢調査から30年後
公表時期	国勢調査から2年半後 (5年ごと)	国勢調査から3年後 (5年ごと)
調査機関	国立社会保障・人口問題研究所	

人口移動（出生、死亡、転出入など）について調べる場合

- ・出生や死亡、転出入に伴う人口増減や移動数がわかる。
- ・出生や死亡などの自然動態、出入国や転出入などの社会動態などが、毎月、全国、都道府県別、市町村別にわかる。

統計調査名	人口動態調査	住民基本台帳 移動報告	新潟県推計人口	人口推計
主にわかること	自然動態	社会動態	自然動態・社会動態	
	出生数 死亡数 死産数 婚姻数 離婚数 など	転入数 転出数	出生数 死亡数 転出入者数	出生数 死亡数 出入国者数
概要	出生、死亡、婚姻、離婚、死産の届出を集計した調査	住民票の転入届を集計し、都道府県間や市町村間の移動状況をとりまとめたもの	国勢調査の実施間における人口を把握するために、国勢調査による人口を基礎として、その後の人口動向を各種統計資料から推計したもの	
国値の有無	○	○	×	○
都道府県値の有無	○	○	○	△ ※1
市町村値の有無	△ ※2	△ ※3	○	×
調査周期	月次			
調査機関	厚生労働省	総務省	新潟県統計課	総務省
備考	出産年齢や出生順位、死因や死亡率等のデータも網羅	都道府県間、市町村間の人口移動を網羅	自然動態、社会動態ともに網羅しており両方を踏まえた人口の状況を把握できる	

※1 年報では都道府県値有り

※2 年報では市町村値有り

※3 市町村値は国・都道府県値の3か月後に公表